



SteelEye DataKeeper Cluster Edition

v8.0.1

リリースノート

2014年4月

このドキュメントおよびその内容は SIOS Technology Corp. (旧称 SteelEye® Technology, Inc.) の所有物であり、いかなる無許可での使用および複製も禁じます。SIOS Technology Corp. はこのドキュメントの内容に関していかなる保証も行いません。また、事前の通知なくこの出版物を改訂し、本書に記載された製品に変更を加える権利を保有しています。最新のテクノロジー、コンポーネント、およびソフトウェアを使用して製品を改善するのが SIOS Technology Corp. の方針です。そのため、SIOS Technology Corp. は事前の通知なく仕様を変更する権利を保有しています。

LifeKeeper、SteelEye、および SteelEye DataKeeper は SIOS Technology Corp. の登録商標です。

本書で使用されるその他のブランド名および製品名は識別のみを目的としており、各社の商標である場合があります。

出版物の品質を維持するために、このドキュメントの正確さ、わかりやすさ、構成、および価値に関するお客様のご意見をお寄せください。

宛先:

ip@us.sios.com

Copyright © 2013

By SIOS Technology Corp.

San Mateo, CA U.S.A.

All rights reserved

目次

SteelEye DataKeeper Cluster Edition	1
はじめに	1
SteelEye DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能	1
バグの修正	2
製品定義とプラットフォーム	3
製品要件	3
Windows 2008 の要件	4
既知の問題	4
SCVMM 2012	4
Windows Server 2012	4
DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド	5

SteelEye DataKeeper Cluster Edition

リリースノート

バージョン 8.0.1

(Version 8 Update 0 Maintenance 1)

重要!!

本製品をインストールまたは使用する前に、必ずこのドキュメントをお読みください!
このドキュメントには、インストール時とその前後に留意すべき重要な項目に関する情報が記載されています。

はじめに

SteelEye DataKeeper Cluster Edition は最適化されたホストベースのレプリケーションソリューションとして Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Failover Clustering とシームレスに連携します。Windows Server Failover Clustering の機能である、サブネットを経由したフェイルオーバーや調整可能ハートビートパラメータにより、管理者が地理的に分散したクラスタを管理するのが容易になります。SteelEye DataKeeper は、両方のバージョンの Windows Clustering を拡張するデータレプリケーション機能により、共有されないディスクの高可用性構成をサポートします。

SteelEye DataKeeper Cluster Edition をインストールすると、DataKeeper ボリュームと呼ばれる新しいストレージクラスリソースタイプを使用できるようになります。この新しい SteelEye DataKeeper ボリュームリソースを従来の物理ディスクの共有ストレージリソースの代わりに使用することで、マルチサイトクラスタとも呼ばれる地理的に分散したクラスタが可能になります。

SteelEye DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能

機能	説明
クラスタ外 ノードへのレプリケーション	DataKeeper はフェイルオーバークラスタの外側にレプリケーションターゲットを置くことができます。
オペレーティングシステムサポート	DataKeeper は Windows 2008R2 以降の 64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。以前のバージョンの Windows または 32 ビットシステム上で実行するには、DataKeeper v7 を使用してください。
Windows 2012 R2 サポート	DataKeeper Windows 2012 R2 をサポートします。
メンテナンス	下記 バグの修正 を参照してください。

バグの修正

以下に、最新のバグの修正および機能強化のリストを示します。

バグ	説明
3290	2x1 環境における共有ストレージを使用したクラスター間でのノード障害によるフェイルオーバーが発生した際に不要な接続確認を行う現象を修正
3374	マルチターゲット環境でフェイルオーバーが発生した際に全同期が行われる動作を部分同期されるよう修正
3613	サイレントインストール中にファイヤーウォールルールが追加される
3646	ソースシステム上でディスクが見つからない場合、DataKeeper Cluster Edition はフェイルオーバーできない
3647	システムダウンまたはシステム到達不能時の複数ターゲットミラー作成不可の改善
3671	Nessus ポートスキャンユーティリティとのDKCEの互換性による問題の修正
3686	ファイルシステムの動作状況との競合によってBSODが発生する可能性を排除
3694	ボリュームリソースを誤ったノードで作成した時に rns.exe がクラッシュする現象を防止
3703	同期モードと非同期モードのミラーを有するジョブのミラータイプを正しく表示する

製品定義とプラットフォーム

製品要件

製品	オペレーティングシステム	追加ソフトウェア
サーバ コン ポーネ ント	Microsoft Windows: Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Enterprise Edition ま たは Datacenter Edition 64 ビットバージョン	Hotfix - KB 951308 http://support.microsoft.com/kb/951308 Hyper-V リソースを保護する場合 Hotfix KB 958065 http://support.microsoft.com/?id=958065 注記: これらの Hotfix は、Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 に は必要ありません。 Microsoft Hotfix KB 2741477 は、VM をフェイルオーバークラスタに配置し た後に仮想マシンに NIC を追加できるようにします(詳細は「 Hyper-V ホストクラスタエラー 」を参照)。
	Microsoft Windows: Server 2012 Datacenter お よび Standard (2012 / 2012 R2)	詳細は 以下 を参照してください。
	注記: ターゲットスナップショット機能を使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインス トールする必要があります。 http://www.microsoft.com/net からダウンロードしてください。	
ユーザ イン ター フェース	Microsoft Windows: <ul style="list-style-type: none"> Server 2008 R2 およ び R2 SP1 Server 2012 Datacenter および Standard (2012 / 2012 R2) Windows 7 	Microsoft .Net Framework 3.5 SP1 - こちらからダウンロードしてくださ い。 http://www.microsoft.com/net MMC 3.0 - こちらからダウンロードしてください。 http://support.microsoft.com/kb/907265

注記: クラスタ内のすべてのサーバで同一バージョンの Windows を実行してください。

SteelEye DataKeeper Cluster Edition をインストールして設定する前に、以下の設定を確認してください。

- **重要:** DataKeeper を実行するすべてのサーバでローカル管理者権限を持ったドメインアカウントを使用することを推奨します。ローカルアカウントを使用している場合、ユーザ名およびパスワードは DataKeeper を実行するすべてのサーバで一致しなければなりません。これはすべてのエディションおよびすべてのプラットフォームに該当します。

- SteelEye DataKeeper Cluster Edition ソフトウェアをインストールする前に、Windows Failover Cluster 環境をインストールしてクラスタリソースを作成できる直前まで設定する必要があります。ファイル共有監視を設定してクォーラムモードマジョリティノードを変更するなど、地理的に分散したクラスタを管理するための Microsoft のベストプラクティスに従ってください。DataKeeper Cluster Edition をインストールする前に基本的な Windows クラスタを設定しなかった場合は、DataKeeper Cluster Edition の修復インストールを実行してから DataKeeper クラスタリソースを作成する必要があります。

Windows 2008 の要件

SteelEye DataKeeper Cluster Edition を Windows 2008 にインストールするとき、以下に説明するようにシステム設定を変更するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。インストーラで変更できない場合は、インストールが終了してから手動で変更する必要があります。

- Windows ファイアウォール
- Distributed Link Tracking Client を無効にする

さらに、Windows 2008 サーバがドメイン内にはない場合は、ローカルセキュリティポリシー設定 [ネットワークアクセス: Everyone アクセス許可を匿名ユーザーに適用する] を有効にする必要があります。サーバがドメイン内にある場合、この設定は必要ありません。

既知の問題

SCVMM 2012

SCVMM 2012 で DataKeeper を使用する場合は、SCVMM 2012 SP1 を使用する必要があります。

Windows Server 2012

Windows Server 2012 に関連する問題および強化については、DataKeeper Cluster Edition テクニカルドキュメンテーションの「既知の問題」セクションの以下のトピックを参照してください。

- WSFC 2012 Failover Cluster Manager UI の欠陥
- WSFC 2012 の新しいファイルサーバタイプがサポートされない
- WSFC でのミラーの手動作成
- WSFC 2012 クラスタ作成デフォルト設定の問題
- WSFC 2012 ファイル共有をファイルサーバリソースに対して作成できない
- WSFC 2012 Server Manager – 不正なボリューム表示
- WSFC 2012 Server Manager – DataKeeper 「ディスク」がクラスタとして表示されない
- Windows Server 2012 デフォルト情報がミラー作成時に見つからない
- Windows Server 2012 MMC スナップインクラッシュ

- Windows Server 2012 – クラスタ化された複数のファイルサーバの役割の同時移動がDataKeeper スイッチオーバーの失敗につながる場合がある
- Windows Server 2012 iSCSI ターゲットの役割がダイナミックディスクをサポートしない
- DataKeeper で iSCSI ターゲットを使用する

DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド

SteelEye DataKeeper Cluster Edition を利用するにあたって、DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイドを参照してください。